

# 令和6年度当初予算の概要

予算説明資料

# 目 次

<u>I 予算編成の背景</u>	<u>3</u>	<u>IV 予算の概要</u>	<u>13</u>
<u>II 収支見通し</u>	<u>4</u>	<u>V 参考資料</u>	<u>14</u>
<u>III 予算編成の基本方針・主要施策</u>	<u>5</u>	予算の明細、建設改良費明細書、 新規債務負担行為内訳、 予定キャッシュフロー計算書、 予定貸借対照表	
水源や施設の適切な管理	6		
災害時の対応能力の強化	9		
経営基盤の強化	11		
阪神地域の水道のより良い姿の追求	12		

## 企業団を取り巻く経営環境

企業団を取り巻く経営環境においては、

- ・ 人口減少に伴う**水需要の減少**、**労働人口の減少**などの社会構造に根差す問題
  - ・ **施設の老朽化**及び**更新需要の増加**といった事業構造上の問題
  - ・ 南海トラフ巨大地震などの大地震、気候変動等による豪雨、河川氾濫及び台風、渇水などの**自然災害の激甚化や発生リスクの高まり**
  - ・ 低水温期におけるかび臭、有機フッ素化合物などの**水質課題の顕在化**
- といった問題が生じています。

また、昨今の経済情勢においては、**物価高騰**、**金利上昇**、**サプライチェーンリスク**（資機材納入の遅延）など、**不確実性**が高まりを見せており、先行きが不透明な状況にあります。

加えて、**国土強靱化**、**脱炭素化**といった国の政策を注視し、対応していく必要があります。

## 企業団の状況

企業団では、こういった状況を踏まえるとともに、中長期における財政収支等を見通した上で、「**経営戦略2024**」（計画期間：令和6年度～令和17年度）を策定しました。

同戦略では、重点取組事項として、

- ・ **施設の適切な維持管理及び着実な更新**
- ・ **災害対策の推進**
- ・ **人材の確保/育成及び業務の効率化**
- ・ **収支改善策の実施・検討**

を掲げています。

上記事項に基づく施策に加えて、令和7年度の**明石市への新規供給**、令和9年度の**施設規模の適正化**などの施策を推進していきます。

## 令和5年度の収支見通し

令和5年度における損益収支は、引き続き物価高騰の影響を受けるものの、**約16億円の純利益**を確保し、**年度末の利益剰余金は約26億円**となる見込みです。

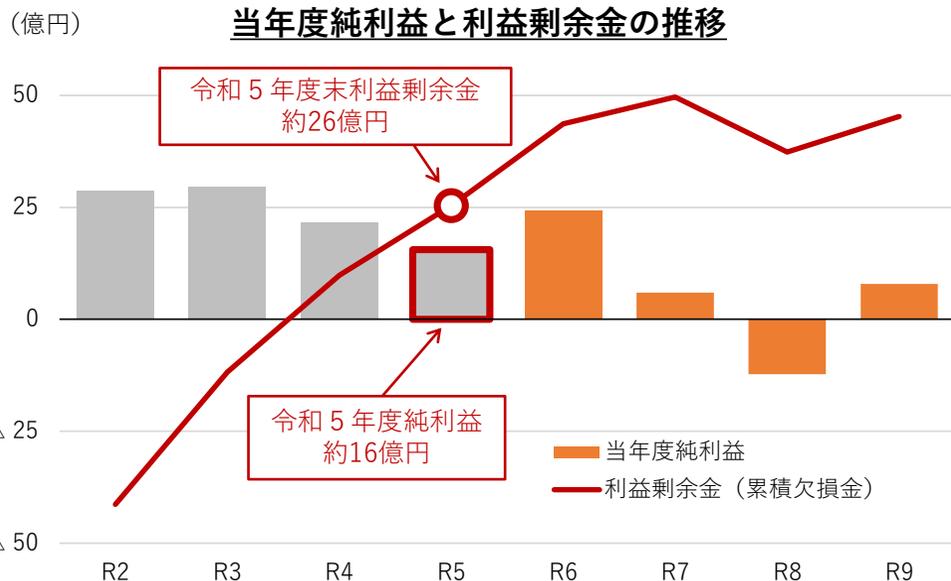
また、**資金収支は約10億円の減少**となり、**年度末資金残額は約129億円**となる見込みです。

## 今後の収支見通し

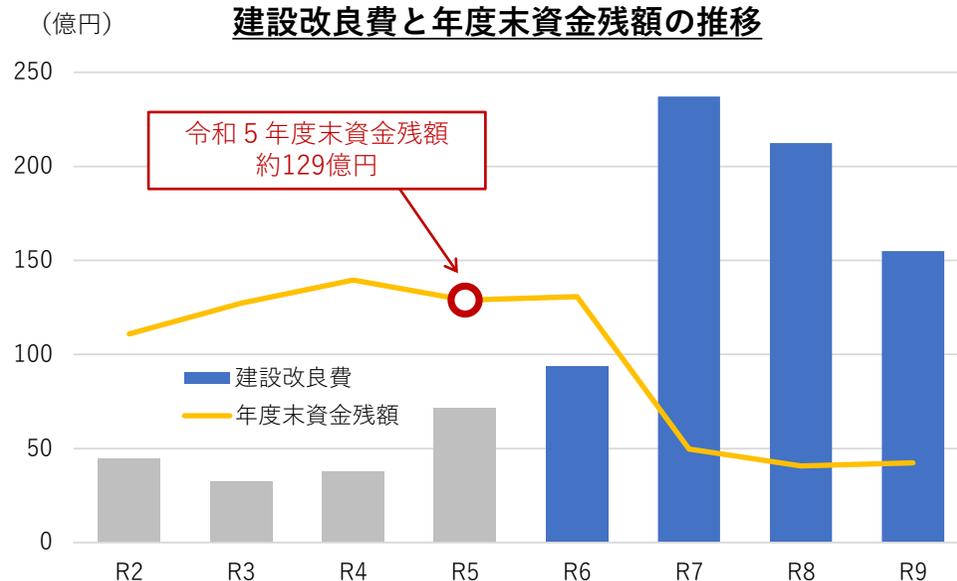
一方、「経営戦略2024」の財政収支の見通しでは、**令和7年度以降、更新需要の増加**が見込まれています。

令和6年度においては、上記の財政収支の見通しに加え、**物価高騰**や**金利上昇**などが不透明な状況にあることが見込まれることから、**引き続き厳しい姿勢**で経営に当たらなければなりません。

当年度純利益と利益剰余金の推移



建設改良費と年度末資金残額の推移



基本理念である「**安全な水の安定供給の持続**」の下、**企業団を取り巻く経営環境**、**企業団が抱える課題**に的確に対応するとともに、**経営戦略に掲げる「基本方針」**、**収支見通し**等を踏まえ、予算編成を行いました。

## 予算のポイント

### 1 施設の適切な維持管理及び着実な更新

- ・ 点検整備基準に基づき、適切に施設の維持管理を実施します。
- ・ **施設の大量更新期を迎える**に当たり、**財源を確保**しつつ、**着実に施設の更新を実施**します。

### 2 災害対策の推進

- ・ 南海トラフ巨大地震等に備え、猪名川浄水場、送水管及び配水管等の**施設の耐震化を継続**します。
- ・ **複合リスクを想定**した、浄水場への非常用発電設備の導入、浸水防止パネルの強化・重要設備の建屋の浸水対策等に着手します。

### 3 人材の確保/育成及び業務の効率化

- ・ **計画的かつ多様な人材確保**に努めるとともに、**人材育成方針**に基づく施策を実施します。
- ・ ICTを活用した施設の維持管理など、**業務の効率化・高度化**を進めます。

### 4 収支改善策の実施・検討

- ・ 更新工事に合わせて、**管口径やポンプ能力の適正化**などを行います。
- ・ 水道施設上部空間の有効活用など、これまでに実施してきた**経営努力を継続**します。

## 適切な水質管理

阪神水道品質保証プログラムの運用を継続することで、適切な水質管理に努めます。

低水温期のかび臭、有機フッ素化合物などについて、今後も調査を継続し、必要に応じて対応強化を図るなど、水道水としての品質を確保します。



### 【具体的取組】

#### 水質検査の対応強化

水質分析機器の新規購入により、検査体制を充実させることで、有機フッ素化合物等における低濃度の測定や測定頻度増加への対応強化を図ります。



液体クロマトグラフ質量分析計

## 施設の適切な維持管理

維持管理に伴う経費については、物価高騰等の影響により増加する傾向にあります。

施設規模の適正化に伴い、施設稼働率の水準が上昇することを踏まえ、点検整備基準に基づき、適切に施設の維持管理を実施します。

### 【具体的取組】

#### 水管橋の適切な管理

水管橋の腐食防止を目的とし、塗装工事を実施します。



2期淀川導水管神崎川水管橋（塗装済）

#### ICTを活用した維持管理の高度化

タブレットを活用した設備点検システムを導入し、点検情報の蓄積等による維持管理の高度化を図ります。

また、工事監督職員に対する遠隔指示や動画保存が可能となる業務支援システムを導入し、工事監理の負担軽減を図ります。

施設の着実な更新

施設整備計画に基づき、着実に施設更新を実施しつつ、水需要の減少を踏まえ、管口径やポンプ能力の適正化などを行います。

より適切に資産管理を行うため、施設台帳システムを見直します（R6～R7）。



〔建設改良費予算計上額2,854,377千円〕

猪名川浄水場系統に属する3期送水管路の更新及び配水管の更新を継続します。

また、水管橋についても耐震補強による耐震性向上を図ります。

【具体的取組】

- ・ 3期送水管（芦部谷送水トンネル、猪名川送水管、甲東送水管）更新（R3～R8）
- ・ 1期東部配水管、3期東部配水管更新（R4～R7）
- ・ 上ヶ原水管橋耐震補強　ほか



送水管更新工事



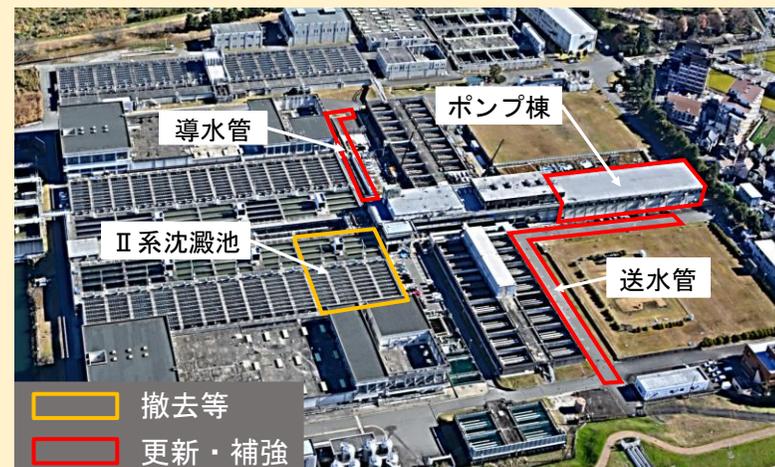
配水管更新工事

〔建設改良費予算計上額 2,237,105千円〕

老朽化や耐震性に関する診断結果（施設現況機能調査）に基づく改修等を継続します。

【具体的取組】

- ・猪名川浄水場改修工事（R4～R8）
- ・3期甲東送水路上ヶ原量水池改修及び甲山調整池連絡施設築造工事（R3～R7）
- ・本庁舎改修工事（R5～R7） ほか



猪名川浄水場Ⅰ・Ⅱ系

〔建設改良費予算計上額 3,601,200千円〕

設計、施工及び保守に係る一括発注方式（DBM）による猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備取替、猪名川浄水場改修工事における電気機械設備工事等を継続します。

【具体的取組】

- ・猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備取替（R5～R8） [DBM]
- ・猪名川浄水場改修工事（機械電気設備）（R5～R9）
- ・甲東ポンプ場受配電設備取替及び受電棟築造（R5～R8） ほか

猪名川浄水場Ⅱ系  
オゾン設備



甲東ポンプ場  
受配電設備

施設の耐震化 - 耐震化率 -

施設現況機能調査に基づき、施設更新や改修を実施し、耐震化を図っていきます。

令和6年度においては、耐震化工事が完了する施設がないため、令和5年度から耐震化率の変動はありません。

今後、猪名川浄水場改修工事や管路更新工事が完成することにより、耐震化率が向上する見込みです。

施設の耐震化率

(単位 %)

	令和5年度末	令和6年度末	...	令和9年度末
	見込値	計画値		計画値
浄水施設の耐震化率	53.9	53.9		87.2
ポンプ所の耐震化率	83.6	83.6	...	90.2
配水池の耐震化率	80.8	80.8		80.8
管路の耐震化率 (トンネルを含む)	60.3	60.3		66.5

※配水池には、浄水池及び調整池を含む。

停電対策・浸水対策・土砂災害対策の実施

当面においては、停電対策の施設規模として、おおむね100L/人/日を目標に、非常用発電設備の整備を進めます。

また、既設浸水防止パネルの嵩上げ、受電設備棟などの重要設備の建屋を対象とした浸水対策を実施します。



【具体的取組】

停電対策

- ・西宮ポンプ場送水6号用エンジン取替 (R5~R6)
- ・尼崎浄水場非常用発電設備基本設計及び導入可能性調査 (R5~R6)

浸水対策

- ・浸水防止パネル設置・補修
- ・甲東ポンプ場受配電設備取替及び受電棟築造 (R5~R8)



既存浸水防止パネル (猪名川浄水場)

## バックアップ機能の向上

系統間の連絡機能の強化を図り、水運用の柔軟性を確保し、供給安定性を向上させます。

また、貯留施設等を更新する際には、貯留能力の増強に努めます。



### 【具体的取組】

#### 3期甲東送水路上ヶ原量水池改修及び甲山調整池連絡施設築造工事（R3～R7）

猪名川浄水場系統である3期甲東送水路から、尼崎浄水場系統である甲山調整池への連絡施設を整備し、系統間の連絡機能の強化を図ります。

#### 災害応援協定に基づく相互応援体制等

近隣の水道事業者だけでなく、遠方の事業者や民間企業とも災害時の応援協定を締結しています。この協定に基づき相互応援体制等を構築し、災害時の対応能力の強化を図っています。

## 危機管理体制の強化

ハード面の災害対策に加え、災害訓練の実施やマニュアルの整備等により、ソフト面の災害対応能力を強化します。

また、災害発生時等における人材確保の観点から、構成市内に所在する企業への工事発注の取組を継続します。



### 【具体的取組】

#### 災害訓練の実施

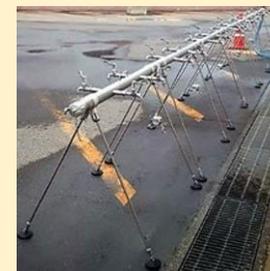
災害を想定した実地訓練に加え、参集訓練、初動対応訓練、災害対策本部訓練など、様々なシチュエーションを想定した訓練を実施します。



応急給水訓練

#### 応急給水栓の購入

可搬式の応急給水栓を購入し、災害時や災害応援に備えます。



応急給水栓

## 施設規模の適正化

### 【具体的取組】

#### 管口径やポンプ能力の適正化

更新工事に合わせて、管口径やポンプ能力の適正化などを行います。

#### （参考）施設整備費の抑制

ダウンサイジングにより、猪名川浄水場Ⅰ系オゾン処理設備の更新等が不要となることで、令和6年度においては施設整備費が約9.3億円抑制されます。

## 経営努力の継続等

### 【具体的取組】

#### 経営努力の継続

- ・水道施設上部空間及び保有地の有効活用
- ・浄水発生土の有効活用、省エネの推進 ほか

#### 施設整備のための財源の確保

令和6年度の建設改良費約94億円の財源を確保するため、企業債借入対象を管路更新工事に加え、構造物及び規模の比較的大きい設備の更新工事に拡大します。

- ・企業債借入予定額〔3,939,000千円〕
- ・国庫補助金予定額〔567,291千円〕

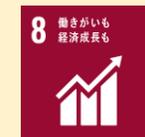
## 組織体制の強化

### 【具体的取組】

#### 人材確保と人材育成

採用人数の平準化等により、年齢構成に留意しつつ、計画的な人材の確保に努めます。

人材育成方針に基づく施策として、多様な人材確保のための採用活動、職員の主体的な能力開発と能力発揮を促すための研修制度、ICTツール・システム等を活用した人材育成、高齢期職員の活躍促進等の取組みを進めます。



## 官民連携

限られた職員数の中で、効率的に事業運営が可能となるよう、民間事業者との連携を検討及び実施します。

### 【具体的取組】

#### 民間事業者との連携手法の検討

設計施工等の一括発注方式（DBM）により更新等を行っている猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備に加え、非常用発電設備の設置などに対して官民連携手法の導入が可能かを検討します。

## 阪神地域を俯瞰した広域連携

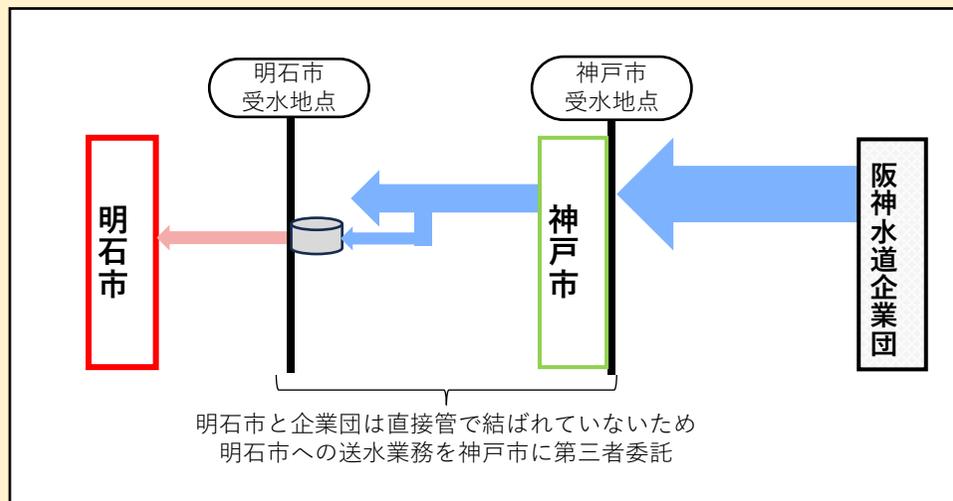
効率的な事業運営を念頭に、構成市、兵庫県企業庁、近隣水道事業体等との情報交換や連携協力の取組を検討及び実施します。

構成市との「阪神地域の水供給の最適化研究会」を継続して実施します。

### 【具体的取組】

#### 明石市への新規供給に向けた施設整備

令和7年度から開始する明石市への新規供給に向け、明石市東部配水場内に流量計を設置するなど、必要となる施設整備を実施します。



明石市への新規供給スキーム

## 地域住民に対する情報の発信

広報戦略2023に基づき、企業団の認知度向上を目指します。

### 【具体的な取組】

尼崎浄水場特別開放イベント  
Webサイト・SNSを活用した広報活動

## 更なる脱炭素化に向けた検討・実施

### 【具体的取組】



#### 本庁舎改修工事（R5～R7）

建物断熱などで空調負荷を削減し、最適な能力の空調設備への更新、LED照明の導入などを実施します。

#### エネルギー消費の現状分析等

企業団の水供給システムにおける設備・工程毎のエネルギー消費等の現状を分析・評価するとともに、更なるCO<sub>2</sub>削減に向けた取組や手法について検討します。

## 1 業務の予定量

(単位 m<sup>3</sup>)

給水市名	1日平均給水量	分賦基本水量	給水量
神戸市	445,791	162,713,715	155,339,985
尼崎市	162,375	59,266,875	41,279,960
西宮市	131,635	48,046,775	45,314,769
芦屋市	28,801	10,512,365	9,256,430
宝塚市	21,000	7,665,000	7,665,000
計	789,602	288,204,730	258,856,144

## 2 収益的収入及び支出の予定額

(単位 千円)

科目	当年度予定額	前年度予定額	比較(△減)
水道事業収益	21,132,376	20,181,152	951,224
営業収益	19,646,496	19,085,203	561,293
営業外収益	1,097,979	1,095,948	2,031
特別利益	387,901	1	387,900
水道事業費用	18,395,738	18,696,022	△ 300,284
営業費用	17,219,834	17,540,590	△ 320,756
営業外費用	746,093	1,150,428	△ 404,335
特別損失	424,811	4	424,807
予備費	5,000	5,000	0

## 3 資本的収入及び支出の予定額

(単位 千円)

科目	当年度予定額	前年度予定額	比較(△減)
資本的収入	5,033,628	1,758,506	3,275,122
企業債	3,939,000	1,506,000	2,433,000
出資金	527,334	14,920	512,414
国庫補助金	567,291	237,583	329,708
工事負担金等	3	3	0
資本的支出	13,696,512	8,292,225	5,404,287
建設改良費	9,379,401	4,324,262	5,055,139
企業債償還金	3,730,629	3,863,067	△ 132,438
水利負担金	43,527	76,926	△ 33,399
国庫補助金返還金	30,855	27,970	2,885
出資金返還金	512,100	0	512,100

## 4 損益・資金収支の予定額

(単位 千円)

当年度予定純損益	1,850,380	当年度予定 資金過不足額	169,350
当年度末予定 利益剰余金	4,406,461	当年度末予定 資金残額	13,078,701

## 5 新規債務負担行為の設定

(単位 千円)

事項	期間	限度額
施設維持管理事業	令和6年度から 令和7年度まで	581,931
施設台帳システム導入業務委託	令和6年度から 令和7年度まで	179,300
管路整備事業	令和6年度から 令和7年度まで	60,720
構造物等整備事業	令和6年度から 令和9年度まで	38,500
設備整備事業	令和6年度から 令和9年度まで	15,383,731

1 収益的収入及び支出

(単位 千円)

	前年度当初予算額 ①	予算案 ②	予算案 - 前年度 ② - ①
水道事業収益	20,181,152	21,132,376	951,224
営業収益	19,085,203	19,646,496	561,293
分賦金	19,053,109	19,626,984	573,875
受託工事収益	0	11,309	11,309
その他営業収益	32,094	8,203	△ 23,891
営業外収益	1,095,948	1,097,979	2,031
受取利息	2,334	2,556	222
補助金	13,337	11,979	△ 1,358
長期前受金戻入	932,514	939,384	6,870
雑収益	147,763	144,060	△ 3,703
特別利益	1	387,901	387,900
水道事業費用	18,696,022	18,395,738	△ 300,284
営業費用	17,540,590	17,219,834	△ 320,756
職員給与費	2,046,133	1,930,427	△ 115,706
浄化費	986,248	863,292	△ 122,956
動力費	4,290,774	3,376,619	△ 914,155
施設管理費	1,577,538	2,213,161	635,623
受託工事費	0	11,309	11,309
物件費	131,565	188,974	57,409
諸費	906,817	1,082,020	175,203
水源管理負担金	455,628	461,630	6,002
減価償却費	7,039,970	7,012,345	△ 27,625
資産減耗費	105,917	80,057	△ 25,860
営業外費用	1,150,428	746,093	△ 404,335
企業債利息	550,260	485,372	△ 64,888
割賦負担金利息	14,177	13,277	△ 900
借入金利息	1	1	0
消費税及び地方消費税	581,771	238,760	△ 343,011
雑支出	4,219	8,683	4,464
特別損失	4	424,811	424,807
予備費	5,000	5,000	0
収支差引額	1,485,130	2,736,638	1,251,508

2 資本的収入及び支出

(単位 千円)

	前年度当初予算額 ①	予算案 ②	予算案 - 前年度 ② - ①
資本的収入	1,758,506	5,033,628	3,275,122
企業債	1,506,000	3,939,000	2,433,000
出資金	14,920	527,334	512,414
国庫補助金	237,583	567,291	329,708
固定資産売却代金	1	1	0
工事負担金	1	1	0
その他資本収入	1	1	0
資本的支出	8,292,225	13,696,512	5,404,287
建設改良費	4,324,262	9,379,401	5,055,139
企業債償還金	3,863,067	3,730,629	△ 132,438
水利負担金	76,926	43,527	△ 33,399
国庫補助金返還金	27,970	30,855	2,885
出資金返還金	0	512,100	512,100
資本的収支不足額(△)	△ 6,533,719	△ 8,662,884	△ 2,129,165
補てん財源	17,936,153	21,741,585	3,805,432
消費税及び地方消費税資本的収支調整額	405,458	812,385	406,927
損益勘定留保資金等	16,325,332	16,522,739	197,407
利益剰余金	1,205,363	4,406,461	3,201,098
前年度末資金残額	13,957,853	12,909,351	△ 1,048,502
当年度資金過不足(△)額	1,196,738	169,350	△ 1,027,388
当年度末資金残額	15,154,591	13,078,701	△ 2,075,890

収益的収入及び支出 (税抜き)

	(単位 千円)		
	前年度当初予算額 ①	予算案 ②	予算案 - 前年度 ② - ①
水道事業収益	18,442,344	19,343,027	900,683
営業収益	17,350,186	17,860,472	510,286
分賦金	17,321,009	17,842,714	521,705
受託工事収益	0	10,300	10,300
その他営業収益	29,177	7,458	△ 21,719
営業外収益	1,092,157	1,094,654	2,497
受取利息	2,334	2,556	222
補助金	13,337	11,979	△ 1,358
長期前受金戻入	932,514	939,384	6,870
雑収益	143,972	140,735	△ 3,237
特別利益	1	387,901	387,900
水道事業費用	17,434,436	17,492,647	58,211
営業費用	16,856,798	16,552,090	△ 304,708
職員給与費	2,042,359	1,926,940	△ 115,419
浄化費	961,711	851,851	△ 109,860
動力費	3,900,819	3,069,769	△ 831,050
施設管理費	1,434,107	2,011,953	577,846
受託工事費	0	10,300	10,300
物件費	119,814	172,008	52,194
諸費	837,897	997,204	159,307
水源管理負担金	414,204	419,663	5,459
減価償却費	7,039,970	7,012,345	△ 27,625
資産減耗費	105,917	80,057	△ 25,860
営業外費用	572,634	510,746	△ 61,888
企業債利息	550,260	485,372	△ 64,888
割賦負担金利息	14,177	13,277	△ 900
借入金利息	1	1	0
雑支出	8,196	12,096	3,900
特別損失	4	424,811	424,807
予備費	5,000	5,000	0
収支差引額	1,007,908	1,850,380	842,472

	(単位 千円)		
	前年度当初予算額 ①	予算案 ②	予算案 - 前年度 ② - ①
前年度末利益剰余金又は繰越欠損金 (△)	979,683	2,556,081	1,576,398
当年度純利益又は純損失 (△)	1,007,908	1,850,380	842,472
当年度末利益剰余金又は繰越欠損金 (△)	1,987,591	4,406,461	2,418,870

(単位 千円)

科 目	金 額	施 工 区 分
原水施設費	841,545	
設備改良費	839,214	<b>管路整備</b> 電食防止施設整備 <b>構造物、構築物整備</b> 淀川取水場浸水対策パネル設置工事 大道取水場流量計取替工事詳細設計業務委託 <b>設備機器更新</b> 大道取水場特高受電設備取替工事基本設計及び事業者選定支援業務委託 大道取水場5期導水ポンプ2号取替工事 大道取水場3期導水ポンプ1号取替工事設計業務委託 大道取水場原水水质連続監視装置取替工事 大道取水場制御機器用冷却装置設置工事
固定資産購入費	2,331	作業用器具 水质試験用器具
浄水施設費	2,365,465	
設備改良費	2,204,842	<b>構造物、構築物整備</b> 猪名川浄水場改修その3 <b>設備機器更新</b> 猪名川浄水場Ⅱ系オゾン設備取替工事 尼崎浄水場非常用発電設備設置工事基本設計及び導入可能性調査業務委託 尼崎浄水場計算機制御装置取替工事 猪名川浄水場Ⅱ系沈澱池弁類取替工事 猪名川浄水場Ⅱ系ろ過池弁類取替工事設計業務委託 猪名川浄水場Ⅲ系攪拌機設備取替工事 猪名川浄水場Ⅲ系ろ過池洗浄設備取替工事設計業務委託 猪名川浄水場Ⅲ系ろ過池排水弁取替工事 猪名川浄水場特高受電設備監視装置取替工事設計業務委託 猪名川浄水場北機室配電設備取替工事設計業務委託 猪名川浄水場送液ポンプ操作盤取替工事設計業務委託 猪名川浄水場Ⅲ系リターンバイパス弁現場操作盤及びⅢ系受水電動弁操作盤取替工事 猪名川浄水場Ⅲ系集泥設備操作盤取替工事設計業務委託 猪名川浄水場及び尼崎浄水場分析計取替工事 猪名川浄水場Ⅲ系ろ過池用空気圧縮機取替工事 猪名川浄水場計算機制御装置取替工事 猪名川浄水場内流量計取替工事 猪名川浄水場内流量計取替工事その2 猪名川浄水場及び尼崎浄水場制御機器用冷却装置取替工事 尼崎浄水場硫酸貯蔵槽増築工事設計業務委託 尼崎浄水場集泥設備用空気圧縮機取替工事 小型荷物昇降機設置工事
固定資産購入費	160,623	作業用器具 水质試験用器具

(単位 千円)

科 目	金 額	施 工 区 分
配水施設費	5,008,082	
設備改良費	5,001,456	<b>管路整備</b> 配水管更新その2 送水管更新その2 送水管更新その3 1期越木岩送水トンネル整備に係る基本検討業務委託 <b>構造物、構築物整備</b> 3期甲東送水路上ヶ原量水池改修工事及び甲山調整池連絡施設築造工事 送水管更新その3 芦谷水道施設流量計取替工事詳細設計業務委託 <b>設備機器更新</b> 甲東ポンプ場受配電設備取替工事及び受電棟築造工事 尼崎浄水場配水ポンプ設備取替工事 上ヶ原接合井及び甲山調整池連絡施設築造工事に伴う設備工事 計装設備取替工事 配水流量計取替工事 センター設備取替工事 甲山地区斜面監視システム取替工事 明石市東部配水場整備に伴う設備工事 猪名川浄水場送水サージタンク用逆止弁取替工事 猪名川浄水場送水ポンプ設備取替工事設計業務委託 猪名川浄水場配水ポンプ設備取替工事設計業務委託 送水センター冷暖房機設備設置工事 西宮ポンプ場送水6号用エンジン取替工事 分析計取替工事
固定資産購入費	6,626	作業用器具 水质試験用器具
営業施設費	762,469	
設備改良費	647,170	<b>構造物、構築物整備</b> 本庁舎改修工事その2 LAN環境改修工事 <b>設備機器更新</b> テレメータ設備取替工事 情報通信設備取替工事
固定資産購入費	115,299	事務用器具
事務費	401,840	
合計	9,379,401	

(単位 千円)

事 項	期 間	限度額
施設維持管理事業	令和6年度から 令和7年度まで	581,931
取水管理橋塗装工事 導水ポンプ設備点検整備工事 導送配水ポンプ用電動機及び空気冷却器点検整備工事 II系中間ポンプ点検整備工事 沈澱池設備用インバータ盤点検整備工事 集泥設備用制御盤点検整備工事 脱水機設備制御盤点検整備工事 沈澱池現場操作盤点検整備工事 水管橋塗装工事その2 配水ポンプ点検整備工事 配水ポンプ用吐出弁点検整備工事 送配水ポンプ用回転数制御装置点検整備工事 保護継電器修理工事 受配電設備点検整備工事 配電設備点検整備工事 配水ポンプ回転数制御装置点検整備工事 起動制御盤点検整備工事 配電設備点検整備工事		
施設台帳システム導入業務委託	令和6年度から 令和7年度まで	179,300
管路整備事業	令和6年度から 令和7年度まで	60,720
電食防止施設整備工事		
構造物等整備事業	令和6年度から 令和9年度まで	38,500
淀川取水場管理棟築造工事設計業務及び工事管理業務委託		

事 項	期 間	限度額
設備整備事業	令和6年度から 令和9年度まで	15,383,731
淀川取水場分析計取替工事 大道取水場特高受電設備取替工事 尼崎浄水場非常用発電設備設置工事に伴う事業者選定支援業務委託 尼崎浄水場計算機制御装置取替工事 猪名川浄水場配電設備取替工事設計業務委託 猪名川浄水場I系フロキュレータ現場操作盤取替工事設計業務委託 猪名川浄水場I系集泥設備操作盤取替工事設計業務委託 猪名川浄水場III系ろ過池現場統括盤取替工事設計業務委託 猪名川浄水場濃縮槽流入弁取替工事 猪名川浄水場III系ろ過池洗浄設備取替工事 猪名川浄水場及び尼崎浄水場分析計取替工事その2 尼崎浄水場オゾン設備取替工事設計業務委託 尼崎浄水場沈澱池設備現場操作盤取替工事 猪名川浄水場II系ろ過池弁類取替及び流出側止水弁設置工事 猪名川浄水場分析計設置工事 猪名川浄水場ブロック監視カメラ設置工事 猪名川浄水場III系中間ポンプ設備取替工事 甲東ポンプ場次亜塩素酸ナトリウム注入設備取替工事 配水流量計取替工事 センター設備取替工事 猪名川浄水場配水ポンプ5号取替工事 甲東ポンプ場第2・3ポンプ室排水設備取替工事 甲東ポンプ場第3ポンプ室給排気装置取替工事 甲東ポンプ場消火設備取替工事 甲東ポンプ場配水A-2号回転数制御装置取替工事 甲東ポンプ場3期送水A-1、B-1号起動制御盤取替工事 送水センター無停電電源装置取替工事 送水センター分析計取替工事 送水センター分析計設置工事 テレメータ設備取替工事		

令和6年度阪神水道企業団水道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書  
(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)

(単位 千円)

1 業務活動によるキャッシュ・フロー

当年度純利益	1,850,380
減価償却費	7,012,345
固定資産除却費	80,048
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8,599
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△ 24,351
法定福利費引当金の増減額 (△は減少)	△ 4,421
長期前受金戻入	△ 939,384
受取利息	△ 2,556
支払利息及び企業債取扱諸費	498,650
その他	9
小計	8,479,319
受取利息	2,556
支払利息及び企業債取扱諸費	△ 498,650
業務活動によるキャッシュ・フロー	7,983,225

2 投資活動によるキャッシュ・フロー

有形固定資産の取得による支出	△ 8,525,201
無形固定資産の取得による支出	△ 43,527
有形固定資産の売却による収入	1
補助金等による収入	567,293
補助金の返還による支出	△ 30,855
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,032,289

3 財務活動によるキャッシュ・フロー

建設改良費等の財源に充てるための 企業債による収入	3,939,000
建設改良費等の財源に充てるための 企業債の償還による支出	△ 3,730,629
構成団体からの出資による収入	527,334
出資金の返還による支出	△ 512,100
財務活動によるキャッシュ・フロー	223,605

資金増加額 (又は減少額)	174,541
資金期首残高	13,082,396
資金期末残高	13,256,937

令和6年度阪神水道企業団水道事業会計予定貸借対照表  
(令和7年3月31日)

資 産 の 部		負 債 の 部		(単位 千円)
1. 固定資産		3. 固定負債		
(1) 有形固定資産		(1) 企業負債		
イ. 土地	7,935,577	イ. 建設改良費等の財源に充てるための企業債	24,683,036	
ロ. 建物	20,406,050	企業債合計	24,683,036	
減価償却累計額	<u>△ 11,631,418</u>	(2) 引当金		
ハ. 構築物	174,640,959	イ. 退職給付引当金	2,507,369	
減価償却累計額	<u>△ 96,285,476</u>	引当金合計	2,507,369	
ニ. 機械及び装置	95,375,515	固定負債合計	27,190,405	
減価償却累計額	<u>△ 74,457,132</u>	4. 流動負債		
ホ. 車両運搬具	57,732	(1) 企業負債		
減価償却累計額	<u>△ 38,758</u>	イ. 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,452,099	
ヘ. 器具備品	1,177,648	企業債合計	3,452,099	
減価償却累計額	<u>△ 697,098</u>	(2) 引当金		
ト. 建設仮勘定	9,371,584	イ. 賞与引当金	148,545	
有形固定資産合計	125,855,183	ロ. 法定福利費引当金	29,691	
(2) 無形固定資産		引当金合計	178,236	
イ. 水利権	9,645,618	流動負債合計	3,630,335	
ロ. 施設利用権	417	5. 繰延収益		
ハ. 電話加入権	1,083	(1) 長期前受金	58,458,290	
無形固定資産合計	9,647,118	収益化累計額	<u>△ 37,681,977</u>	
(3) 投資その他の資産		繰延収益合計	20,776,313	
イ. 投資有価証券	500,000	負債合計	51,597,053	
ロ. 出資	69,856			
投資その他の資産合計	569,856	6. 資本金	90,962,169	
固定資産合計	136,072,157	7. 剰余金		
2. 流動資産		(1) 資本剰余金		
(1) 現金預金	13,256,937	イ. 補助金	2,033,213	
(2) 貯蔵品	119,829	ロ. 受贈財産評価額	43	
流動資産合計	13,376,766	ハ. 工事負担金	218,497	
資産合計	<u>149,448,923</u>	ニ. その他資本剰余金	231,487	
		資本剰余金合計	2,483,240	
		(2) 利益剰余金		
		イ. 利益積立金	979,683	
		ロ. 当年度未処分利益剰余金	3,426,778	
		利益剰余金合計	4,406,461	
		剰余金合計	6,889,701	
		資本合計	97,851,870	
		負債資本合計	<u>149,448,923</u>	